

会 議 録

会 議 名	令和4年度第3回船橋市環境審議会	
事 務 局	環境部環境政策課	
開 催 日 時	令和5年3月22日（水）10時00分～12時00分	
開 催 場 所	市役所本庁舎 9階 第1会議室	
出 席 者	委 員	沼子会長、西廣委員、谷合委員、横堀委員、岡委員、林委員、 田島委員、斎藤委員、木下委員、鈴木委員、岩佐委員、横田委員
	事 務 局	環境政策課 中西課長、大谷課長補佐、江森係長、河村係長、本間主事 荻原主事、大平主事
	そ の 他	御園生環境部長
欠 席 者	委 員	平川副会長、藤井委員、山本（千）委員、熱田委員、三栴委員、 竹口委員、山本（重）委員、角野委員
傍聴者	0名	
議 題	（1）第3次船橋市環境基本計画の進捗管理について （2）生物多様性ふなばし戦略<改定版>の進捗管理について	

会議経過	<p style="text-align: center;">令和4年度第3回船橋市環境審議会</p> <p>大谷課長補佐 ただいまから令和4年度第3回船橋市環境審議会を始めさせていただきます。</p> <p>よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、ご出席いただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>まず、審議会開催に先立ちまして皆さまに報告事項がございます。</p> <p>審議会委員のうち、新しくお二人の方が審議会委員としてご承諾いただき、先ほど委嘱状を交付させていただきましたのでご紹介いたします。</p> <p>まず、塚原委員に代わり、千葉県自然観察指導員協議会よりご推薦いただいた林信子様、また、江口委員に代わり、船橋市環境フェア実行委員会よりご推薦いただいた斎藤清様です。</p> <p>それでは、新たに審議会委員になられましたお二人の方に簡単なご挨拶をいただければと思います。</p> <p>千葉県自然観察指導員協議会 林信子様、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【林委員 ご挨拶】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>続きまして、船橋市環境フェア実行委員会 斎藤清様、よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">【斎藤委員 ご挨拶】</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>本日は議題として、第3次船橋市環境基本計画の進捗管理について、生物多様性ふなばし戦略<改定版>の進捗管理についてを予定しております。</p> <p>それでは、議題に入る前に、船橋市環境部長御園生より一言ご挨拶申し上げます。</p> <p>御園生部長 皆様おはようございます。環境部長の御園生でございます。全国的にもそうですが船橋市におきましてもコロナが終息に向かい、昨日はお花見もかなりの方の人出で賑わい、今ちょうどWBCもかなり盛り上がり、令和元年度までの日常生活に戻つつあるなど実感したところがございます。船橋の環境におきましても、やはり、これまで2年3年となかなか市民の方々に直接的なアクションをかけてお伝えすることができませんでしたが、是非この令和5年度は、日常生活を戻しつつ皆さんが自然環境に親しみ、そこに対する大切さを知っていただく機会と</p>
------	--

して、様々な機会をとらえて行政からも、あるいは市民事業者の方からも色々な部分で自然環境を守って次世代に繋げていくことについて伝えていきたいと考えているところがございます。私ごとでございますが、3月をもちまして船橋市職員を退職することとなります。新年度以降は新体制で、また皆様のお力添えをいただきたいと思います。本日は、令和4年度の取り組みを皆様にご審議いただくわけでございますが、忌憚のないご意見をいただき、新しい年度に向けての事業に繋げてまいりたいと思っておりますので、是非ともよろしく願いいたします。

大谷課長補佐 それでは本日の審議会を進めさせていただきたいと思えます。本日の審議会には、委員20名中、委員13名の方が出席しております。また、西廣委員におかれましては、オンラインによる参加をされていることをご報告いたします。平川委員、藤井委員、山本千夏委員、熱田委員、竹口委員、山本重委員、角野委員におかれましては所用により欠席されております。

船橋市環境審議会規則第3条第2項により、審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができないと定められておりますが、本日は半数以上の委員が出席されており定足数を満たしていることをご報告いたします。

それでは、これからの進行については、船橋市環境審議会規則第3条第1項の規定により、会長が議長となり議事を整理することとなっておりますので、沼子会長に挨拶と、その後の議事進行についてよろしく願いいたします。

沼子会長 どうもありがとうございます。会長の千葉大学の沼子と申します。先ほど部長からご挨拶がありましたようにコロナがかなり収束の方向に向かっているというか定常的な状況に戻ってきていて、ただマスクを任意で着用ということを政府が通達して、大学も4月以降は学生さんに関してはマスクを着用しなくてもいいというような基本ラインで進めるということで、来年度からのシステムについて検討しているところです。感染症に関してはまだ感染されたり重症の方もいらっしゃる中ですが、これからタミフルのような治療薬ができれば、もっと自由度が高くなってもっと戻ってくると私は信じています。ただ一方で、コロナ禍で私が憂慮していたのが、感染症対策のためにそれまでなるべくゴミを出さないとか、同じお箸だったら長く使えるものを使うというような流れが日本にあったのが、感染症対策ということで基本的に使い捨て、それから

プラスチックの材質はアルコール消毒とかに向いているので、そういうものを多用になってマイクロプラスチックの問題とか、ゴミが多くなっているとか、開けっ放しで暖房をかけるのでエネルギーが非常にかかるなど、そのようなことがこの2、3年で定常化しているのが現在です。これから先は、異常気象もそうですし、いろいろな問題に対処しながら感染症も抑えるという新しいシステムが必要になってくると思います。今回、生物多様性の取りまとめをしていただいて、これも一つ、環境問題にとっても重要なことですが、また来年更にいろいろなものが出てくる中で、今年の生物多様性に対する対策のことをこの8か年の計画の中でどのようにアクションを起こして、それが市民生活の中に根付いて、それぞれ皆さんの行動とか考え方とかが変わっていくのを見ながら、これも一つのモデルとして、今後この審議会では色々な問題に対応していかなければならないと思います。その時に皆さんのご経験やお知恵をお借りしていければと思います。どうぞ、来年度も引き続きよろしく願いいたします。

それでは、議題に入る前に、まず事務局に確認いたしますが、本日、傍聴人はおりますか。

大谷課長補佐 本日は、傍聴人はおりません。

沼子会長 ありがとうございます。それでは傍聴者がおられないということで、審議に入りたいと思います。それでは、まず、事務局より配布資料の説明をお願いします。

江森係長 それでは、配布資料の確認をさせていただきます。まず、本日の次第です。事務局のタブレットをご覧ください。1ページ目になります。「資料1 (説明用) 令和4年度船橋市環境基本計画 個別施策の取組結果及び令和5年度の目標一覧」です。こちらは、タイトルの頭に(説明用)という記載があるものとないものの2種類があることをご確認ください。事務局のタブレットをご覧ください。2ページ目になります。また、(説明用)と記載がない資料は、一つ隣のタブでご覧いただくことができます。「資料2 第3次船橋市環境基本計画における各取組の進捗状況(見込)」です。事務局のタブレットでは4ページ目になります。「資料3 (説明用) 生物多様性ふなばし戦略(改定版) 行動計画(原案)」です。こちら、タイトルの頭に(説明用)という記載があるものとないものの2種類があることをご確認ください。

ださい。事務局のタブレットでは、5ページ目になります。また、こちら（説明用）と記載がない資料は一番右のタブでご覧いただくことができます。「資料4 生物多様性ふなばし戦略<改定版>における各取組の進捗状況（見込）」です。事務局のタブレットでは、15ページ目になります。「資料5 第3次船橋市環境基本計画及び生物多様性ふなばし戦略<改定版>における船橋市環境審議会開催スケジュールについて」です。事務局のタブレットでは、16ページ目になります。また、本日、皆さまには、「生きもの探しハンドブック」と、「船橋の環境」というタイトルの縦長のリーフレット、「令和4年度版 船橋市の環境」というタイトルの冊子をそれぞれ作成しましたので、参考までに配布させていただきました。「生きもの探しハンドブック」は、議題2の「生物多様性ふなばし戦略<改定版>の進捗管理について」の中でご説明する際にご覧いただくものになります。縦長のリーフレットは、船橋市の環境対策や現状を市民に周知するために作成しました。出前講座や、小学校における総合学習、各啓発イベントなどにおいて周知していく予定です。「令和4年度版 船橋市の環境」は、船橋市における環境への取組や、現状とその対策などを冊子としてまとめたものになります。資料の不足等がある方はいらっしゃいますでしょうか。

沼子会長 次第に沿って審議を進めたいと思います。

【議 題】

（1）第3次船橋市環境基本計画の進捗管理について

沼子会長 議題の（1）第3次船橋市環境基本計画の進捗管理について、事務局より説明をお願いします。

江森係長 議題（1）第3次船橋市環境基本計画の進捗管理について、ご説明させていただきます。

【資料1、2を説明】

沼子会長 ありがとうございます。お聞きのとおり事務局より説明がありましたが、ご意見、ご質問がございましたら挙手の上、ご発言をお願いします。

齋藤委員 施策番号の261、三番瀬環境学習館の生物多様性情報室がご
います。その部屋の取り扱いにつきまして、一般募集をこれからやると
のことで大変嬉しいですが、市民を集めて講習会ですね、5名から10
名ぐらい入りそうなので、そういう一般団体の人たちに是非利用して
もらえないかなと、各団体の意見がありましたのでご報告します。そう
いうことができるかどうかということです。

大谷課長補佐 環境学習館における生物多様性情報室のあり方につ
きましては、環境学習館と環境部で取り扱いについて検討したところ
でございます。昨年度は各事業者さんに広報で募集し、3団体という
ことで掲示をさせていただいておりますが、現在は市内で季節性を持
たせようということで、冬に見られる鳥たちを紹介しております。三
番瀬であるとか、里山編ということでリニューアルを現在している
ところでございます。令和5年度につきましては、お手元にもありま
すように生き物モニタリング調査に参加してもらうことを目途に、
春夏秋冬の指標種とセミや特定外来種等の掲示をすることによ
って生物多様性情報室をより魅力的なものにしていきたいと思っ
ております。それから、今お話をいただいた市民団体の方にお貸し
する場にはどうかということですが、こちらにつきましても検討さ
せていただいたところですが、あくまでも生物多様性情報室は市環
境部が所管の部屋で、ご存知の通り現在無人になっておりまして、
そこで他の方にお貸しをしたときに、鍵の管理や、今の学習館の
状況の中では、どの団体に貸しているのかということの管理がで
きませんので、より魅力をアップしたかたちで、具体的には季節
性を持たせた展示等を充実させる等により、生物多様性情報室の
活用を図っていききたいということになっておりますので、ご理
解いただければと思います。

齋藤委員 会議は無理として、あそこに団体を連れてきて案内
して、こういう展示がありますよというようなやり方はよろしい
ですね。

大谷課長補佐 先ほどお話しさせていただいたとおり、現在も冬
に見られる野鳥であるとか、令和5年度に入りましては、生き物
のモニタリング調査の指標種というものも新たに掲示する予定
でおりますので、是非、足を運んでいただくようにご誘導いた
だければと思います。

沼子会長 今の齋藤委員と同じように、ご専門ということになり
ますと取組

みの農水産課の担当で、取組番号が78番と114番は委員の方で該当の方がいらっしゃいますので、もしよろしかったらご意見いただけないでしょうか。鈴木委員から78番の施策番号の漁場を守り育てる担い手の育成、この取組みについてご意見をいただけますか。

鈴木委員 今お話があった施策番号78番の取組みについては非常に感謝しております。船橋市主導の中で、新規に漁業者を増やすための取組みということで費用を出してもらったり、あるいは、人を出してもらったり、効果としてすぐに人が増えていくわけじゃないですが、取組みの中で小学生の漁港見学や漁業体験、あと漁具の購入補助、これらを通して将来的に漁業者を増やしていくという取組みの中でかなり尽力されていますので、私どもとしても非常に感謝しているところでございます。

沼子会長 どうもありがとうございます。114番も農業関係なので木下委員がご専門だと思いますので、この取組みについてご意見いただけますか。

木下委員 問題は実際皆さんもご存知のように野菜を出荷する際はダンボール箱に入れて出荷するのが基本ですが、通常消費者には全く関係ないんですよね。今は直売も増えてきて紙のダンボール出荷からコンテナの出荷になりゴミを減らす動きをしていることと、ダンボールが大体一箱100円、200円してしまうので、野菜が安くなればなるほど生産者の皆さんにとってコスト的にも問題になります。ただ、JA市川さんの人参の化粧箱はすごく目立つ箱ですが、残念ながら我々野菜を売る時はあまり贈答用で化粧箱に入れて差し上げることがないです。果物とかはあります。ダンボールはこのブランド力を向上させて商品をしっかり売っていくことは一つの役割としてありまして、あとはJAとしてはダンボール出荷をできるだけ抑えられるところは抑える、もう一つは、ダンボール箱の精度を限りなく薄くしてゴミを減らす、コストを下げるという活動をしています。生産者が直接スーパーに持ち込んだりする際など折りたたみのコンテナをよくご覧になると思いますが、コンテナによってゴミは減ってきていると思いますし、スーパーマーケットも昔ながらにダンボールを積んで売っていくよりは、商品を綺麗に並べて売るのが主流になっていますので、持っていくための箱の改良とかもありますが、農協や生産農家の方からすると、ダンボールを減らしていくという活動

も必要です。こことは直結しないんですが野菜を出荷するときの残渣、このゴミもまた大変です。今一番課題なのはネギです。ネギを剥がしたゴミの残渣がかなりあって、今そういうのも各行政と協力して肥料に切り替えていくような活動もしているので、そういうところも踏まえて活動をしているという状況です。箱のところは少し微妙な表現になるかと思いますが、現状ではそういうところでございます。

沼子会長 どうもありがとうございます。今のように元々基本計画の施策の方針と異なり、審議会委員の専門分野の方々から、これは多分ゴミを軽減するという行動のアクションに繋がられるなど、いろいろな施策において当事者に近い方のご意見を拾い上げて何かプラスポイントをもっと拾い集めてもいいのかなというふうに感想を持ちました。

木下委員 ちなみに、JA市川さんの人参の箱は綺麗に使えれば使った後にまたお洒落に使える箱になっていますので、そういうことも考えて作っていると思います。そこを皆さん参考にしていただければと思います。

田島委員 今のお話に関連して、千葉ジェッツが箱に入っているらしいんですが、どのようなことをやっていますか。

木下委員 箱を見るとわかりますが、ジェッツの名前のロゴと同じようなデザインになっています。ジェッツは赤い色がメインなので、それに便乗して人参が同じような色なので箱をよくよく見ると人参と書いてあるといった感じです。アリーナとかで出すとすごく絶賛されて売れていきます。ただ普通のところで見かけると、これはなんだろうなって感じになりますので、そこは市川農協さんも今課題として考えていると思います。

谷合委員 資料1の括弧書きの抜粋版の方を皆さん見られていると思いますが、私の専門分野がそこの中に入っていなかったものですから括弧のない方の資料で、幾つかご質問させていただきたいことがあります。皆様も括弧のない方の資料をご覧ください。括弧のない資料1の1ページ目のところ、(1)持続可能な地球を未来へつなぐ社会づくり③創エネルギーの推進の中にバイオマス燃料の利用に関する項目があり、こちらがd評価となっています。同じ③創エネルギーの推進の中の隣の項目で西浦下水処理場のバイオマス発電の話が出てきますが、これ実は非常に先進的な事業、この船橋でやられている非常に先進的な再エネの取り組みに

なっております、このことは3ページ目、⑧循環型社会の推進というところの130番から133番あたりのところでも取り上げられていますが、昨年だったと思うのですが船橋市内でこのバイオガス発電の会社が作られまして、下水処理水から電力を作り出せるというプラントが実際に動いています。アサヒビールの工場でかつてやられていたプラントはなかなかうまくいなくて現状おそらく止まっていると思いますが、それに代わる新しいプラントが動き出していますので、ここのあたりの評価はこれからちゃんと動いてくるともう少しプラスになるのではないかと思います。このことについて把握されている方がいらっしゃればこの話を聞きたいと思っております。これが一点目です。

2点目ですが、2ページ目の(2)大切な自然を育み、自然とふれあうまちづくり、この中の一番左の項目が74番多自然川づくりの推進となっているのですが、海老川上流域、木戸川の整備事業の話が出ています。実は昨日の予算の中でもメディカルタウン構想という形で710億円という非常に巨額の予算が通りました。ただしこれは非常に膨大な面積の低湿地を埋め立てるという事業計画になっておりまして、環境評価上もかなり大きな負荷がかかってくる事業なのかと思っています。この件がこの環境審議会の中で対応する部分がどこになるのか分からなかったもので、この海老川上中流域の再開発が船橋市内の環境にどのような影響を及ぼすのかということをお話していただきたいです。これが2点目になります。これはどこに当てはまるかわからなかったもので2ページ目の一番左端のところをピックアップしましたが、もしかすると他に当てはまる項目があるかもしれませんので当てはまる項目があれば教えてください。

3点目ですが、先ほど斎藤委員からもお話されたラムサールのお話で、干潟の保全・再生という施策です。今までなかなかラムサール条約の話については一歩踏み込めない状態が続いて明確に何をするのかというところが見えてこなかったところがありましたので、これからどういう形でラムサール条約の登録実現に向けた行動をとっていくのかをお話していただきたいと思っております。

御園生部長 バイオマスとの関係とメディカルタウンの関係について私の方から回答させていただきたいと思っております。バイオマスにつきましては、谷合委員からご紹介のありました通り、高瀬下水処理場、西浦下水処理場と両方の施設で、下水汚泥といったものをバイオマス、メタンガスとして発酵させたものを電気として回収するバイオマス発電を行っている

ころでございませう。今後の市の方向性として、特に西浦下水処理場に関しましては、し尿処理を浄化槽で処理をする西浦処理場が隣接してございませう。こちらのし尿に関しては、水処理をして流してございませうが、そちらの方のし尿浄化槽を使ってバイオマス発電ができないかということでの検討を進めると同時に、これは将来的な課題もございませうが、例えば給食残渣や、先ほどJAの木下さんからお話がありましたが、食物系の廃棄物をどうバイオマス化していくか、船橋市の将来に向けて限りある資源をどのように活用していくのかということは検討していかねばいけないうこととして考えているところございませう。今は下水道から回収されたもののバイオマス発電はできてございませうが、それ以外のものについては今後検討ということでは位置づけているところございませう。

海老川上流地区における土地区画整理事業に関しては、お話がありました通り、自然環境というところが都市化されるということになりますので、自然環境に対する負荷がかかってくるということございませうが、所管してございませう都市計画部にこの辺について、当然環境アセス的なものということでは、今後の捉え方というのは計画されてございませう聞いてございませうが、改めて、この場で私からの説明がなかなか難しいところございませうので、今後の環境審議会では改めてその辺の環境負荷に対する今後の取り組み、それと対応ということの説明をさせていただきたいと考えているところございませう。

西廣委員 只今、ご質問とご説明があった海老川上流域の件は私も気になってございませう、伺おうと思てございませう。今、ご説明いただいたところはよく理解できませうが、内容としませうても、環境基本計画の重点的な取組という中에서도、台地から海への水ネットワークを繋いでいこうという中にも、自然の多面的機能を防除するため、グリーンインフラの導入による防災・減災への活用が期待されませうということでは、自然の地形とか、あるいは水源として利用されていたとしても、防災・減災に活用していき、またグリーンインフラということですので、生物多様性保全などにも両立させていくことを検討することが重点施策として盛り込まれてございませうし、また、生物多様性ふなばし戦略の方でも、遊休農地における自然環境活動の検討というところで、遊休農地の利用方法や、水質浄化や治水なども視野に入れて検討しませうということが挙げられてございませう。前提として、流域治水、国の施策で新しい法制度の成立が進められているなかで自然環境の保全と治水を両立させていく方針が非常に重視されているところと思てございませう。大変ポテンシャルの高い地域だと思てございませうので、

次回に説明ということでご回答いただいたと思いますが、開発事業でもありますので、そのスケジュールを考慮して遅れないように、また、手遅れにならないように必要に応じて資料のやりとりとか環境調査の方針が決まるところで相談とか、その辺のスケジュール感を、気を付けてやり取りさせていただければと思います。今まで決めてきた戦略を実現する上で、とても重要な課題だと思っています。よろしくをお願いします。

谷合委員 すみません。少し補足をさせてください。一つは最初の下水道の話ですけれども、実はこの船橋市内には中山競馬場と、船橋競馬場の二つの競馬場があります。どちらも競馬場の馬の廃棄物、敷きわらと馬糞ですが、どちらも産業廃棄物として大量に出て困っています。これは下水系の廃棄物ですので、実はこの西浦処理場で十分、発電用の燃料として使える可能性があるもので、どちらの競馬場も非常にこの問題は直近の問題として困っています。もし両方にバイオガス発電に繋がれるようであれば船橋市としても大きなエネルギー源を手に入れられることとなりますのでご検討いただきたいと思います。もう一つは、今の流域治水の埋め立ての話ですけれども、すでに昨年の10月くらいから埋め立てが始まっています。非常に大量の土砂が既に入っています。工事の許可が何処でどう出ているのかわからないのですが、工事は非常な速度で進んでいるという現状をお伝えしておきたいと思います。

斎藤委員 メディカルタウンの件でご報告いたします。昨年、メディカルタウンにカヤネズミの巣があって、カヤネズミは非常に船橋でも希少で、埋め立てられたのでどうするのか聞いたところ、カヤネズミは生きものなので回りに逃げてまた巣をつくるという話でしたが、カヤがないと巣を作れないんです。ですので、埋め立てられるのであれば、カヤネズミが生息できるような場の提供なども考えて進めてほしいと思います。

中西課長 先ほど谷合委員からご質問をいただいた3番目のラムサールの件でお話をさせていただきたいと思います。改めて細かいところを私の方からご説明するまでもございませんが、船橋における三番瀬につきましては約1,800ヘクタールほどの貴重な干潟があるというところで、船橋だけではなく習志野市や市川市、浦安市の4市にまたがる干潟でございます。過去に、色々な計画があり三番瀬ミーティングという形で県が主体となって、自治体または関係団体とお話をさせていただいておりましたが、コロナの関係もございまして、ここ数年開催をしていないという

ところでございます。船橋市としましては、実はこの4市と意見交換会というかたちで、Web会議にはなりますが、現状や今後の考え方について意見交換を行ったところでございます。そういった中で少しずつではございますが、ラムサールの登録に向けた考え方を整理していきたいと考えているところでございます。今後はラムサール登録についてどのように進めていくのか、また県も含めて少し整理をしていきたいと考えています。

西廣委員 話を戻してしまって申し訳ありませんが、先ほど、メディカルタウン構想についてのやりとりに理解が追いつかないというか、齟齬があるような気がしたので確認させていただきたいのですが、先ほど行政の方からお話されたと思いますが、環境アセスメントなどもやりながら、情報を共有しながら進めるというご説明をいただきましたが、その後も埋め立ては進めませんというような話があって、お恥ずかしいことに、私は現場のことをよく存じ上げないでニュースなどの報道で見聞きしているという程度で申し訳ありませんが、そこも既にズレがあるような気がしているんですが、事実関係がどうなのか、もし進んでいるとしたら、その工事が事前にどのような調査を行ってどのような判断をされたのかということを確認させていただくとともに、これからできる対処について早めにご相談できればいいなと思いますがいかがでしょうか。

御園生部長 メディカルタウン構想は区画整理事業ということになりますので、市所管部としては都市計画部所管の中で進んでいるところでございます。その中で埋め立て事業に関しては土砂と埋め立てに関する条例は環境部の環境保全課が所管しておりますので、土砂等の埋立てに関しては行政の区画整理事業も含めて、許認可事業ではありませんが許可事業に準じて区画整理事業組合の方から土砂の搬入に関して届け出を市で受けて、土砂等の安全性の確認ということも含めて環境部の方で行っているところでございます。環境面に関する対応に関してのところでございますが、お恥ずかしいところでございますが、そこに関しての具体的な詳細についてはまだ環境部としても承知してないところが多分でございますので、先ほど申し上げた通りそこに対する対応や対策につきましては、改めて確認させていただいて、場合によっては臨時での環境審議会の開催も含めて、環境審議会の中で現状についてどんな状況なのかということをご説明差し上げたいと思っています。

西廣委員 ありがとうございます。区画整理の事業を事前に判断の根拠になるような環境に関する調査、あるいは情報共有があったのかということと、先ほど今後に向けてというところもありましたので、今後の展開される場所にどれだけ反映できるかということだと思います。お声かけいただければできるだけご協力したいと思います。私も現地を見てお役に立てればと思いますのでよろしくお願いします。

【議 題】

(2) 生物多様性ふなばし戦略<改定版>の進捗管理について

沼子会長 議題の(2)生物多様性ふなばし戦略<改定版>の進捗管理について、事務局より説明をお願いします。

河村係長 議題(2)生物多様性ふなばし戦略<改定版>の進捗管理について、ご説明させていただきます。

【資料3、4を説明】

谷合委員 3点質問があります。一つは先ほどの海老川の話ですが、カッコがない方の資料3で、28ページの取組番号42番に対応しているかと思います。盛土に関する容積指定が書かれています。500m³を超える場合は必ず許可制にしないとということが書かれていますが、おそらく先ほどの海老川流域の話はこれが抜けてしまっているかと思いますので、その点どういう対応をとったのか、廃棄物指導課が担当課というのどのようなのかなというところはあると思いますがそこを教えてください。それと後で西廣先生からの話で出るとありますが、30ページの取組番号48番から51番までのところ、これが先ほども議論になっていた海老川中流域に関わる内容かと思います。今ここで議論は多分難しいかと思うので、これの進捗状況を確認させてください。これが1点目です。

次に17ページの取組番号14番と15番です。14番だけで環境政策課、商工振興課、農水産課の三つの課に跨ってしまっています。先ほどコアマモという希少な海藻類、これが三番瀬で見つかったという報告が斎藤委員の方からあったかと思いますが、私も実はこのコアマモの話、千葉県南部の南房総市で再生する活動において見てきて関わっていますが非常に再生が難しいです。しかしながら三番瀬にはコアマモが再定着してきてフィールドミュージアム三番瀬の会の方でいくつか生息してい

ることが確認されています。何とか保全をしたいと思って活動されていますが、商工振興課から潮干狩りの関係があって、保全のために目印として立てている杭を外してほしいという話も出ているようで保全と利用をどう折衷していくのか難しいお話なので、この辺の現状を斎藤委員から後ほどお話していただくと良いかなと思います。

3点目は、取組番号69番と70番で人材育成の話で出てきます。私や斎藤委員はふなばしエコカレッジで講習会をさせていただいて、たくさんの方の参加者がいて大変賑やかな講座で楽しかったのですが、エコカレッジの話の中で環境に対する市民調査を行うという話が事前にあったと思いますが、実際にはそういう市民調査の話はまだこの中には出てきていないようです。今日も植物調査をやっておられる方がいらっしゃいますが、市民団体を中心とした市民調査、植生調査を行う予定があるのか教えてください。

御園生部長 海老川流域の埋め立てに関しては、環境部所管の事項でございますので、私の方からお答えさせていただきます。先ほども触れましたけれども、取組番号42番、所管は環境保全課と廃棄物指導課になっておりますが、許可の観点で言いますと、廃棄物指導課の方で盛土、あるいは埋立事業に関する許認可事業を行っております。先ほど申し上げた通り、市の条例の中で言いますと、あくまで公共事業にかかわるところは許可制ではなく条例の適用を受けないんですが、この条例適用を受けたものに準じて土砂はこの土が入ってくるのか、それと土砂に対しての安全性として分析調査結果の提出や、盛土した後の強度に対する調査ですとか、環境部の所管の考え方としては土砂を埋め立てることによって、その元々の土壌などに関して、きちんと安全性が担保されたものとして埋め立てられるかどうか、この場所ではないんですが場合によっては擁壁等組む場合もありますから、そういった構造上の問題なども含めて条例施行の中で見させていただいております。現状、盛土に関しては、どこからどういった土がどれぐらいの量で入ってくるかということで、かなり工期が長く進められる予定ということで聞いておりますので、搬入の前に、その都度、条例に準じたかたちで市に書類を提出いただいて、環境部としてはそこに対する土砂の安全性、特に汚染されるような要素がないかどうかの確認をした上で進めさせていただきます。環境部に関しては先ほど申し上げた通り、今後所管である都市計画部等にも確認した上で正確な情報としてお伝えしたいと思います。

中西課長 二つ目の質問についてお答えします。コアマモの件につきましては、斎藤委員からも情報は随時いただいております。コアマモの貴重性ということについては十分認識しているところでございます。先ほどご意見もありましたが、潮干狩りの利用者がいらっしゃいますので、どのようなかたちで整理していくのか、場所を少し動かさないのかというようなところも含めて関係各課と協議をしていきたいと考えております。現時点では、今後の方向性についてお伝えできないところでございます。

河村係長 エコカレッジに関する市民参加型の自然環境調査ということで質問の方はよろしいでしょうか。こちらにつきましては現在のところは検討中といったところでございまして、10年前の平成25年度、26年度に自然環境調査を行った時は、コンサルタントに委託し実施したところでございます。生物多様性ふなばし戦略の中でも、おおよそ10年ごとに自然環境調査を実施していくとありますので、その自然環境調査の実施方法につきましては、前回と同様にコンサルタントに委託するといった方法に加えまして、市民の方にご協力いただく市民参加型の調査といったものも、他自治体で実施している事例の方も収集しているところでございますので、その点も含めて検討していきたいと思っております。

西廣委員 生物多様性戦略を進めるにあたって、ちょうど今、国も新しい生物多様性国家戦略をまもなく閣議決定される段階にあります。その中で、重要な施策として、30 by 30、2030年までに国土の30%までを自然が守られた場所にしていこうと、それに向けて自然共生サイトと呼んでいますが、いわゆる自然保護区でない場所も自然共生サイトという形で指定して、保全を支援していこうという動きが始まっています。同時に企業では、TNFDが施行されるということに代表されるように、企業活動が自然環境や生物多様性にどんなインパクトを与えているかということを明示していくことが求められるようになってきているというのが、今、世の中の大きな動きとしてある中で、船橋市内でネイチャーポジティブな活動としてはどのようなものがあるかという選択肢を企業に示していくということがとても重要になってくると思います。国家戦略自体は閣議決定前ですが、30 by 30は国の目標で合意していますし、自然共生サイトの指定というのが、昨年度から試行としてスタートしています。市内のいい場所を自然共生サイトとして登録して、それを支援

するという選択肢を提示していくというような、そういう登録の推進や企業との対話をもう少し具体的に実践的な情報共有といったところも力を入れて進めていくと掲げている目標に迅速に近づけるのではないかと思いますコメントさせていただきました。

齋藤委員 コアマモは県の保護植物になっていますが、それ以上に青潮が三番瀬では結構発生します。なぜか沿岸地区は青潮で微生物は生き延びます。コアマモが生息しているということで、塩分濃度を調べたら、大体3.4%くらいが平均ですが、それが2.4%と1%くらい低いです。地質調査した結果、3mくらいの盛土をしています。その下は昔の土で泥が入っているのでなかなか水が浸透しないということで、盛土の中に溜まった汚水が引き潮の時に出てきます。また、満潮になるとそれを含むということで非常に地水を守って非常にいい環境らしいです。これは千葉県の中央博物館に調べてもらったところ発見されました。沿岸地区ではコアマモは非常に育成する場所として適しています。それからもう一つ、コアマモは多年生でございまして、今行くと全然土で何もわからないので、ここにありましたという印を付けておかないと子供たちが何も知らずに大事な根っこを切ってしまうので、あそこには是非ポールを立てて守っていきたいと思います。もう一つは、立てたポールを地元の人が抜いてしまったので、これは大事なものだと言ったところそうですかわかりましたと言われましたが、そういう意味で、あそこに訪れた人に終始徹底してコアマモは青潮の時に微生物を守るので大事であることを知らしめる看板みたいなものも立てたいと思います。このあたりの具体的な話は相談させていただきたいと思いますのでよろしくお願い致します。

沼子会長 以上で本日の議題が終了となります。委員の皆様、ありがとうございます。最後に事務局から何かありますか。

江森係長 船橋市環境審議会開催スケジュールについて説明いたします。「資料5 第3次船橋市環境基本計画及び生物多様性ふなばし戦略<改定版>における船橋市環境審議会開催スケジュールについて」をご覧ください。事務局のタブレットをご覧ください。今後の環境審議会開催についてですが、まず、第一回の開催として毎年9月頃に開催を予定させていただきたいと思います。審議内容としては、「各施策の進捗状況等の報告について」ということで、各施

	<p>策の評価をまとめた年次報告書案を作成しご審議をいただきます。開催までの流れになりますが、6月頃に各担当課に前年度の施策の評価等を照会し、取りまとめます。課によっては、各指標のデータが8月頃にならないと確定しないものもありますので、最終取りまとめを8月としています。9月の環境審議会において頂いたご意見を反映し、年次報告書を確定させますが、各課へのフィードバックのタイミングとしては、環境審議会の開催後を予定しております。この時期が次年度への予算要求を行うタイミングになりますので、環境審議会において頂いたご意見と併せて各課にフィードバックし、次年度の予算要求に繋げることができるようにと考えてございます。また、第2回環境審議会は、本日同様、当年度における進捗評価見込と来年度目標について、1月頃に各課に照会し、とりまとめたものを3月の環境審議会の中でご意見をいただき、各課へフィードバックしていきたいと思っております。スケジュールについては以上になります。</p> <p>また、本日の会議録についてですが、事務局にて作成後、委員の皆様へ送付し、確認をしていただいたのちに公表いたします。お手数ですが、会議録の確認にご協力をお願い致します。以上でございます。</p> <p>沼子会長 ただいまの説明に対して、何か御質問、御意見などございませんか。よろしいでしょうか。</p> <p>それでは、以上で令和4年度第3回船橋市環境審議会を終了させていただきます。</p>
資料	<p>資料1 令和4年度船橋市環境基本計画個別施策の取組結果及び令和5年度の目標一覧</p> <p>資料2 第3次船橋市環境基本計画における各取組の進捗状況（見込）</p> <p>資料3 生物多様性ふなばし戦略（改定版）行動計画（原案）</p> <p>資料4 生物多様性ふなばし戦略<改定版>における各取組の進捗状況（見込）</p> <p>資料5 第3次船橋市環境基本計画及び生物多様性ふなばし戦略<改定版>における船橋市環境審議会開催スケジュールについて</p>